

プロロジス、兵庫県尼崎市で MonotaRO 専用物流施設 「プロロジスパーク尼崎 3」の竣工式を挙



物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内)は、2013年9月26日、株式会社 MonotaRO 専用施設「プロロジスパーク尼崎 3」の竣工式を兵庫県尼崎市の同施設内にて執り行いました。

竣工式には「プロロジスパーク尼崎 3」に入居する株式会社 MonotaRO 執行役副社長 室 大二郎様をはじめ関係者の方々、尼崎市 稲村 和美市長をはじめ尼崎市の関係者の方々、設計・施工を担当する西松建設株式会社近藤 晴貞代表取締役社長や関係者の方々、プロロジスからは代表取締役社長の山田 御酒らが参列し、施設の完成を祝うと同時に今後の事業の発展を祈願しました。

同社は今後の成長を見込み、全国をカバーする物流の拠点として「プロロジスパーク尼崎 3」に入居を決定しました。また、すでに「プロロジスパーク多賀城」も利用しています。

■ 開発予定地

「プロロジスパーク尼崎 3」は関西の湾岸部の主要物流拠点エリアである兵庫県尼崎市、阪神高速道路・尼崎西インターチェンジより約 1km、名神高速道路・尼崎インターチェンジより約 5.4km の地点に立地し、関西圏の主要な高速道路へのアクセスに優れていることに加え、大阪市および神戸市中心部にも至近なことから、利便性の高い物流拠点となっています。また、阪神電車出屋敷駅より約 210m の地点にあり施設内で勤務する従業員にとって通勤にも至便な立地です。

■ 施設計画概要

「プロロジスパーク尼崎 3」は約 20,000 平方メートルの敷地に地上 4 階建、延床面積約 44,100 平方メートルの施設として開発されました。各階に車両が直接アクセスできるランプウェイを設け、効率的なオペレーションを実現すると同時に、災害時などにも各階から荷物の搬入出を可能としました。庫内には垂直搬送機と貨物用エレベータを設置し、利便性を高めています。プロロジスの標準仕様として外壁への断熱サンドイッチパネル、屋根にダブル折板を採用し、共用部に LED 照明を採用することで、省エネを

(裏面へ続く)

実現できる施設となっています。さらに屋上には緑化を導入し、将来災害用発電機が設置可能なスペースを設けています。

■ 関西地区のプロロジスパーク

プロロジスは関西地区において、このたび竣工した「プロロジスパーク尼崎 3」を含め、大阪市西淀川区にあるマルチテナント型施設「プロロジスパーク大阪 4」等、現在 9 棟、約 77 万平方メートルの物流施設を運営中です。また、2013 年 11 月竣工予定の「プロロジスパーク川西」を始め、2013 年 12 月竣工予定の「プロロジスパーク神戸」、2015 年 1 月竣工予定の「プロロジスパーク大阪 5」の 3 棟、約 20 万平方メートルを開発中です。

プロロジスは、今後もお客様の物流効率化のニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

「プロロジスパーク尼崎 3」計画概要

名 称	プロロジスパーク尼崎 3
所 在 地	兵庫県尼崎市西向島町 75-1 他
敷地面積	約 20,000 m ² (約 6,042 坪)
延床面積	約 44,100 m ² (約 13,345 坪)
構 造	S 造(一部 SRC 造)、地上 4 階建
着 工	2012 年 11 月
竣 工	2013 年 9 月

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室

報道関係者お問い合わせフォーム
https://f.msgs.jp/webapp/form/11859_dor_73/index.do